

展覧会タイトル

ETOASIAN 干支 亜細亞 ~ アジアを巡る 12年 ~

対象：アジアの人

目的：国際協調、アジアの平和、相互理解。

内容：干支の動物にちなんだ企画展を12年計画で毎年、各施設で行うもの。主言語は中国語、韓国語。原産地、こたげ、童話、生体などの紹介。中国や他へも巡回する。

関連事業：毎年の干支にちなんだコルフェア、カレンダー、冊子などの発行、TV番組、12年パス、のりもの  
とくどくパス

予算：リサイクル、協賛金も募り低予算で。

役割分担：歴史M 科学M. Zoo. Agua  
大学, 美術館, 図書館.  
(協力：JTB. 西鉄. 出版...)

いち押し：海外Mも巻き込む多くの連絡。  
長期。

ひっかかり課題：長期の為 恒常的な事務局を  
どうするか、担当者を引きつぎ  
あきらめない工夫。

言語が多くキャプションが1まん  
雑となる(←スマホなどでカバー)

WS 1班 姨(石橋)

- 自己紹介 牧さん, 本間さん (金斗), 岡村さん, 朝山 (雄), 池内 (晴), 今井 (彦)
- タイトル, 対象, 目的, 内容, 関連事項, 予算, 役割分担, 会場, 持ち物, 引当金, 会場

三食宮連ケイ. — 九冊 — コレックスありきは手紙

まずは目的と対象.